

農林水産商工委員会資料

(農林水産部所管分)

■報告事項

- | | |
|---------------------------|------|
| ①粗飼料緊急確保支援事業について | … P1 |
| ②肥料価格高騰対策事業（国）について | … P2 |
| ③第12回全国和牛能力共進会（鹿児島全共）について | … P3 |
| ④合板用原木供給先転換緊急支援事業について | … P4 |
| ⑤水産業における諸課題について | … P5 |

令和4年8月23日
農 林 水 産 部

粗飼料緊急確保支援事業について

1 背景及び目的

- 過去に例をみない配合飼料や粗飼料の価格高騰の中で、すべての畜産農家の経営継続に必要な配合飼料について、その購入費用の一部を支援する「畜産経営緊急支援事業」を5月補正予算で措置
- 輸入粗飼料に依存している酪農や肉用牛農家では、配合飼料に加えて粗飼料の負担も経営を大きく圧迫していることから、その確保に必要な費用の一部を原油価格・物価高騰対策調整費を活用して支援

2 事業内容

令和3年10月～12月の乾牧草輸入価格（財務省貿易統計）を基準に、これを超える乾牧草輸入価格の1/2を交付単価として、輸入粗飼料の購入量に応じて交付

- ① 対象者：輸入粗飼料を500kg/月以上利用する畜産農家
- ② 対象期間：令和4年1月～令和4年12月
- ③ 事業費：177,055千円

【参考】

- ・ 下図の交付単価は、R3.10～12月からR4.1～3月の価格上昇が今後も継続する場合を想定
- ・ 乾牧草輸入価格の上昇額÷農家購入価格の上昇額



肥料価格高騰対策事業（国）について

1 事業概要

肥料価格は農林水産省の農業物価統計調査によれば、本年6月時点で令和2年対比128%であり、秋肥から令和5年産に向けては更に値上がりの見込み。

肥料価格高騰による農家経営への影響を緩和するため、化学肥料の使用量低減の取組を行う農業者に対して肥料コスト上昇分の7割を支援。

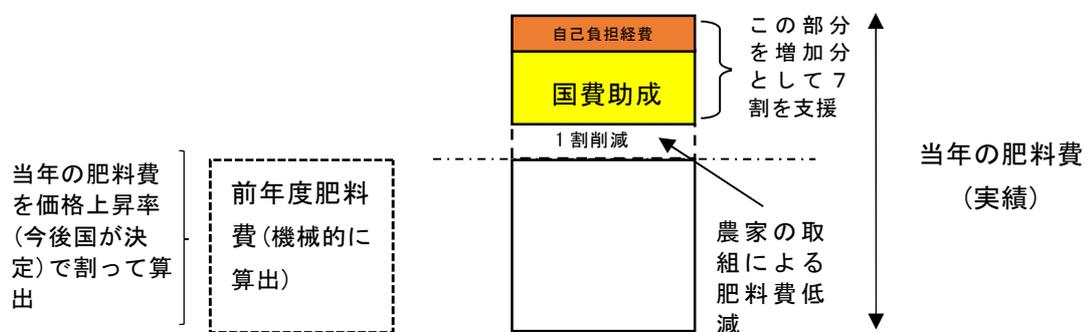
新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰対策予備費を活用。予算額は788億円。

2 生産者の参加要件

- ・化学肥料の使用量の2割低減に向けて取り組む農業者のグループ（5戸以上の販売農家）
- ・化学肥料の使用量低減を実現するため、取組メニューから2つ以上選択
例）土壌診断や生育診断による施肥設計 堆肥や有機質肥料の活用
側条施肥やドローンを活用した局所施肥
地域特認技術（都道府県協議会が認める技術） など
- ・化学肥料低減の取組は本年から2年間に実施
- ・これまでの取組も考慮し、既取組メニューでも拡大・強化は対象とする。

3 支援額

本年の肥料費（実績）から、価格上昇率（今後国で算出）、化学肥料使用量低減率（1割想定）により肥料費の増加額を算定し、その7割を支援



4 支援対象となる肥料

令和4年秋肥（本年6～11月に供給される肥料）～令和5年春肥（本年11月～来年5月に供給される肥料）として購入した肥料

5 想定スキームとスケジュール（本年秋肥分の場合）



第12回全国和牛能力共進会（鹿児島全共）について

1 県代表の選抜状況

(1) 種牛（雌牛、雄牛）の部（7月13日の県代表牛選抜会で決定）

区分（出品頭数）	出品地区等	出品者等（敬称略）
第1区若雄（1頭）	畜産技術センター	（奥出雲町産）
第2区若雌①（1頭）	津和野町	水津美見
第3区若雌②（1頭）	安来市	田口好美
第4区繁殖雌牛群（3頭）	大田市温泉津町	森德行、仁柿真悟、厚朴邦広
第5区高等登録群（3頭）	奥出雲町	金倉弘美、和泉宏幸
第6区総合評価若雌群（4頭）	奥出雲町	奥出雲町農業公社、勝田律江、石原誠、井上昭
特別区高校・農大（1頭）	出雲農林高等学校	

(2) 肉牛の部（8月25日に決定予定）

区分（出品頭数）	候補牛の父（種雄牛）	候補農場（地区）
第6区総合評価肉牛群（3頭）	久茂福	藤増（出雲）、安来肥育C、中国牧場（奥出雲）、和泉牧場（奥出雲）
第7区脂肪の質評価群（3頭）	百合五月、百合久勝	藤増（出雲）、隠岐牛企画（海士）、吉田肥育C（雲南）、伊藤牧場（出雲）
第8区肥育技術評価（1頭）	同上	同上

2 今後の予定

(1) 県代表激励会

日時：9月1日（木）11:00～12:00 場所：サンラポーむらくも

(2) 鹿児島全共 本大会（主会場：霧島市牧園町 霧島高原国民休養地周辺）

月日	大会行事		その他
	午前	午後	
10月6日（木）	開会式	特別区審査	知事会場視察、現地激励会
7日（金）	第1、2区審査	第3、4区審査	県議会会場視察
8日（土）	第5、6区審査	特別、第1区順位決定	
9日（日）	第2、3区順位決定	第4、5、6区順位決定	
10日（祝・月）	肉牛区順位決定	閉会式	

(3) 和牛オリンピック鹿児島大会記念！「しまね和牛」フェア

日程：11月3日（木・祝）～11月10日（木） ※ 神在祭に合わせて開催

内容：全共に出品した「しまね和牛」肉を県民や観光客に広く提供

参加：【飲食店】焼肉藤増、島根ワイナリー ほか

【販売店】ラピタ、Aコープ全店、藤増ストア ほか

合板用原木供給先転換緊急支援事業について

1. 趣旨

県内の原木生産量はこの10年間で約2倍の66万 m^3 に増加し、合板用原木は約3割を占めており、県内林業事業者から(株)日新本社工場(境港)へは約4.5万 m^3 の合板用原木が供給されている。

本年6月の同本社工場火災の影響により、一時中断していた合板用原木の受入も一部再開されたものの、工場の復旧には一定の期間を要する見込み。

合板用原木の需要量の減少は、伐採する森林から同時に生産される合板用を含め、製材用、製紙・燃料チップ用原木全体の生産・雇用に影響を与えることが懸念されることから、県内林業への影響を軽減する支援策を講ずる。

2. 事業内容

(1) 対象者 (株)日新に納材している県内林業事業者

(2) 対象経費及び補助額

①用途変更への支援

【支援額】ア. 合板用原木の価格を下回る供給への支援

上限額 8,300円/ m^3

②供給先変更等に伴う運搬距離の延伸や中間土場等での原木の一時保管への支援

【支援額】ア. 運搬にかかる支援 30円/ $\text{m}^3 \cdot \text{km}$ (定額)

イ. 一時保管にかかる支援 950円/ m^3 (定額)

3. 予算額(予備費の充当)

43,925千円

(事業対象期間 令和4年6月20日から10月31日まで)

水産業における諸課題について

1. 密漁に係るJFしまねへの指導

(1) 経緯等

本年2月 JFしまねが密漁（漁業権侵害）を告訴していないとの報道
→報告徴求（2月8日及び3月7日）

※H28～R3年度に99件の密漁

うち95件は不告訴・申告期限も超過、4件は告訴

6月1日 漁業法第91条第1項第1号に基づく指導を実施

7月28日 JFしまねから県に再発防止策（原則告訴）が提出

(2) 今後の対応

JFしまねの再発防止策の履行状況を注視

【参考：漁業法（抜粋）】

（指導及び勧告）

第91条 都道府県知事は、漁業権者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、当該漁業権者に対して、漁場の適切かつ有効な活用を図るために必要な措置を講ずべきことを指導するものとする。

一 漁場を適切に利用しないことにより、他の漁業者が営む漁業の生産活動に支障を及ぼし、又は海洋環境の悪化を引き起こしているとき。

二 合理的な理由がないにもかかわらず漁場の一部を利用していないとき。

2～3 （略）